

博士論文審査の視点

博士論文の質の向上を図るとともに、本学大学院博士後期課程の特徴をふまえた、より適正な論文作成および評価を行えるようにすることを目的として、審査の視点を整理する。これらの視点は、教員および学生が共有するものとする。

評価項目	評価のポイント
1. 新規性・独創性	研究成果は、当該研究の学術分野において新規性や独創性を有しているか
2. 学術的意義・研究の学術分野の発展への貢献	研究目的に学術的意義があり、当該研究の学術分野の発展に貢献するものであるか
3. 研究課題の明確さ・適切性	研究課題が明確で、論文題目が適切であるか
4. 先行研究の参照の妥当性	研究の背景について、先行研究が十分に参照され、適切に引用されているか
5. 研究手法の適切性	十分な倫理的配慮のもと、適切な研究方法が採用され、データの収集・分析方法について詳細に記述されているか
6. 結果および考察の適切性	得られた結果について適切に記述し、十分な考察がなされているか
7. 論文構成・論理性	論文の構成が適切であり、一貫した議論によって結論を導いているか
8. 研究者としての能力	博士論文の内容の少なくとも一部が、査読のある学術雑誌などに掲載または掲載決定となっているか 当該研究の学術的意義，方法論及び研究結果の妥当性などについて，適切に説明できているか